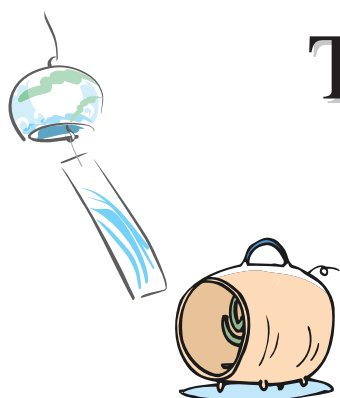




THE SEASONS



秋祭り

「御輿」



組立説明書



ペーパークラフト「御輿(みこし)」をダウンロードしていただきまして、ありがとうございます。
シートに記載されている記号と、この説明書を参考に、すべてのパーツを組み立てると、「御輿(みこし)」のペーパークラフトモデルが完成します。ご家族揃って挑戦してください。

組立説明書 A4・3ページ
クラフト A4シート×3 パーツ総数18

これは「御輿(みこし)」の組立説明書です。パーツデータは別にダウンロードしてください。パーツデータのプリントアウトには、A4サイズで厚みのある、しっかりした用紙(官製ハガキ程度)をおすすめします。

本サイトの作例ではケント紙の135kg(0.18mm)を使用しています。

1 始める前に

用意する道具・材料

ものさし ハサミ カッターナイフ 鉄筆など先のとがったもの(折り目をつけるためのもの) サインペン ピンセット 接着剤 指先をきれいにしておくなど。

注意していただくこと

カッターナイフなど刃物の取扱いには十分にご注意ください。また刃物を使用する場合には、厚紙などを下敷としてお使いください。

接着剤等を使用する際は、室内の換気を十分におこなってください。

データを出力するプリンタの機種によって、出力範囲が異なる場合があります。多少縮小して出力することをお勧めします。

2 作り方

切り方

このペーパークラフトは、右図の工作方法の説明をよく読んで、それぞれのパーツの組立てに必要な工作方法に従って組み立ててください。

外線はカッターナイフやハサミで丁寧に切り取ります。

ワンポイント・アドバイス

カッターナイフで丁寧に切り取ってください。

山折り線は、線に沿って鉄筆など先のとがったもので軽くなぞり、折りやすくしてください。極端に強くなぞると、紙に裂け目ができちゃうので注意してください。

接着剤をつけすぎると、紙にしわができるので注意してください。

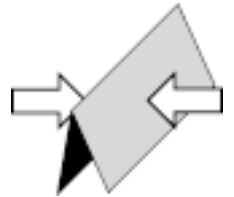
作り始める前に用紙の余白部分等で、接着剤の適量をお試しください。接着剤には乳白色の木工用ボンドをおすすめします。

小口や折り目が白く目立つ場合は、サインペンや色鉛筆などで補修してください。完成後では補修作業が難しいので、制作段階で確認しながら組み立ててください。

工作方法の表記

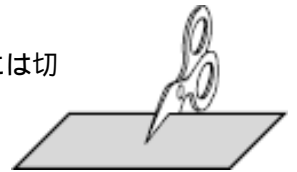
———— (実線)

この部分は**山折り**にしてください。



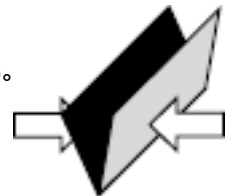
———— (白線)

このマークがついている部品には切り込みを入れてください。

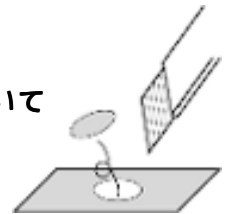


----- (破線)

この部分は**谷折り**にしてください。



このマークがある部分は**切り抜いて**ください。

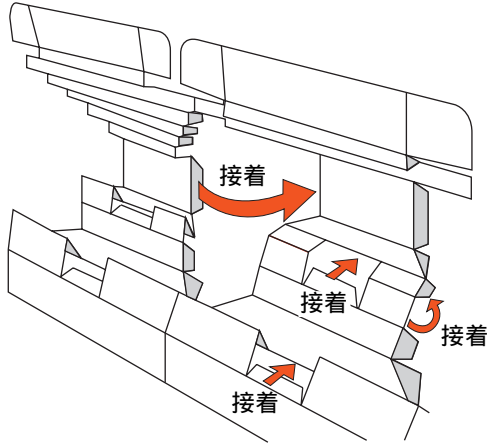


3 組立

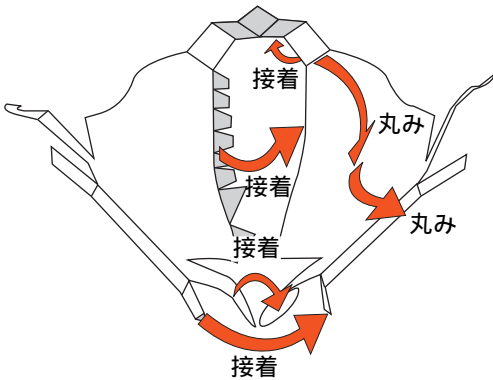
各パーツを、組立図と工作方法を参考にしてお組み合わせてください。

組立図

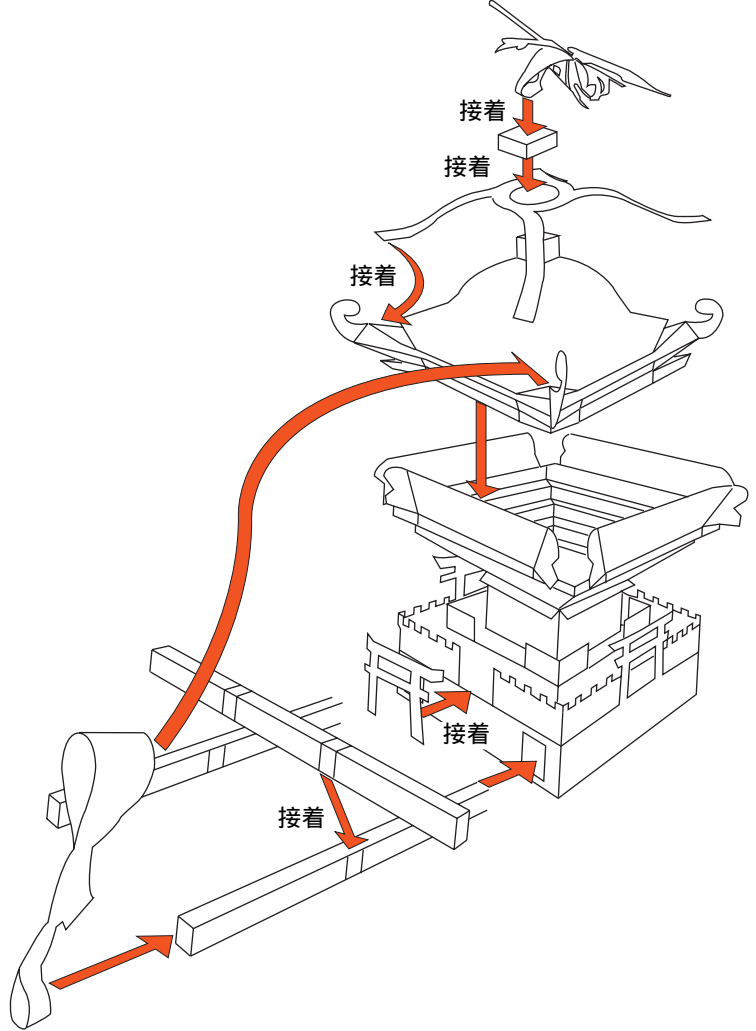
胴の組立



屋根の組立

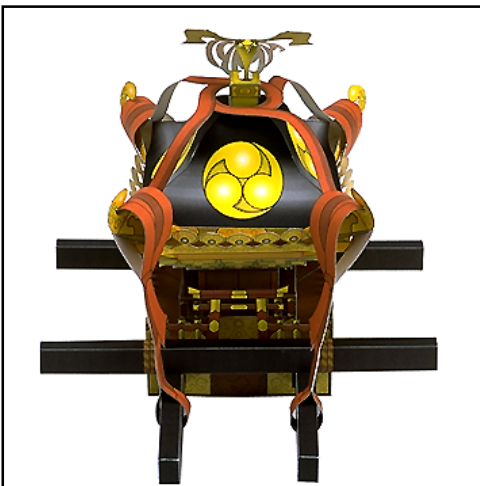


各 부품の取り付け位置などの参考にしてください。



4 完成

完成写真



御輿 (みこし)

「御輿 (神輿)」が、初めて文献にあらわれるのは今から1200年以上昔の、西暦794年のこと。宇佐八幡を東大寺に迎える時に用いられたとあります。つまり、御輿 (みこし) は神様の乗物であり、動く神社なのです。

その「御輿」には本格的な神社建築様式が取り入れられ、四角・六角・八角・丸型などたくさんのタイプがあり、屋根や棟飾り、鳳凰など、専門の職人さんの手によって丹精込めて創作されます。今回はパーツも多く、加工にも手数がかかりますが、ご家族と一緒に、日本の伝統美の結晶・御輿 (みこし) を完成させましょう。